

南アフリカ為替週報

2023年8月3日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去2週間の動き> (7月20日～8月2日)

USD/ZAR: 17.4193～18.5869

ZAR/JPY: 7.71～8.07(参照値)

過去2週間の南ア・ランド相場は7月下旬にかけて続伸し、7月20日時点の対ドル17.9前後から27日には今年2月以来となる対ドル17.41まで3%近く上昇した。しかし、その後は急激にランド安方向に押し戻されており、8月2日時点で対ドル18.5前後まで下落している。8月に入ってからのランドの大幅な下落については8月1日に発表された7月中国製造業PMI(財新版)が市場予想が50.1のところ実績が49.2と大幅に下回ったことが影響した可能性が高い。

ランドは引き続き外部要因に大きく左右される展開が続いているが、国内の要因では7月20日の南アフリカ準備銀行(SARB)の金融政策決定会合が今後のランド相場にとって重要である。SARBは7月会合で政策金利を8.25%で据え置いた。ブルームバーグ集計の民間エコノミスト予測では、27名中17名が+25bpの追加利上げを予想していた。10名は据え置きを予想していたほか、金利フォワード市場での直前の織り込みは+25bpの追加利上げの確率が40%と、50%を下回っていたため、完全にサプライズだったわけではないものの、据え置き発表後に南アランドは下落した。SARBの政策金利据え置きは2021年9月以来であり、これまで10会合連続で利上げをしていた。さらに、今年3月と5月の2会合では利上げ幅をそれまでの+25bpから+50bpに拡大していた。

結果は据え置きではあったものの、記者会見や、声明文、アップデートされた経済見通しは、SARBの中でインフレ警戒姿勢が根強いことを感じさせるものだった。クガニャゴ総裁は、利上げサイクルが終わったわけではなく、今後はデータ次第だと発言している。さらに総裁は、インフレが再び加速する恐れのある要因として、グローバルな環境の不透明感と共に、エルニーニョ現象に伴う食料品価格の押し上げのリスクや、計画停電に伴う供給・輸送の混乱のリスクを挙げている。金融政策決定委員会の中で据え置きは3対2の賛成多数で決まっており、2名は追加利上げを主張していた。また、インフレ見通しは前回5月の会合から全体的に引き下げられているものの、2023年10～12月期の消費者物価指数(CPI)の見通しは前年同期比+5.3%と5月時点の同+5.6%からわずかに僅かに引き下げられたにすぎない。また、CPIがSARBのインフレ・ターゲット中央値である前年比+4.5%まで低下するのは2025年後半まで待つ必要があるという見解は維持されている。市場が織り込んでるように、2024年にSARBが利下げを開始する兆候は、少なくとも今会合では見られなかった。

<過去2週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
7/20	14:12	政策金利発表		8.5%	8.25%	8.25%
7/31	13:00	貿易収支(10億ランド)	6月	5.0b	-3.5b	9.6b

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう2週間の見通し> (8月3日～8月16日)

USD/ZAR: 17.20～19.50

ZAR/JPY: 7.10～8.10

今後2週間のランド相場は下値を探る展開が見込まれる。今回の据え置きはサプライズではあったものの、総じてSARBのタカ派姿勢は維持されており、市場の利下げ織り込みが今後剥落する可能性を考慮すれば、金利面からはランドがサポートされる面は大きいだろう。次回の金融政策決定会合は9月21日に予定されているが、ランドが大きく崩れない限りは据え置きとなる可能性が高い。一方、ランドの値動きは、南アの国内要因に加えて、外部環境の影響を受けやすい。米金利や、中国経済の動向には留意する必要があるだろう。

<向こう2週間に発表予定の主要経済指標等>

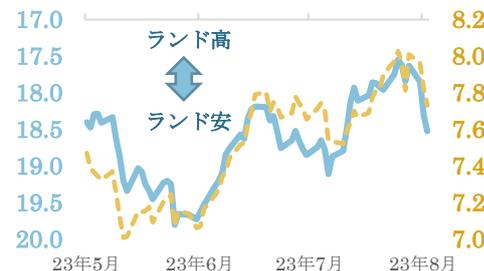
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
8/10	12:00	製造業生産(前年比%)	6月			2.5%
8/16	12:00	小売売上高(前年比%)	6月			-1.4%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

南ア・ランドの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

点線: 対円レート(右軸)



南アフリカ 政策金利とCPI

実線: 政策金利

点線: 消費者物価指数(CPI)

(%, 前年比%)



南アフリカ準備銀行 CPI予測値

(前年比%)



(資料:ブルームバーグ)

<文責>

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

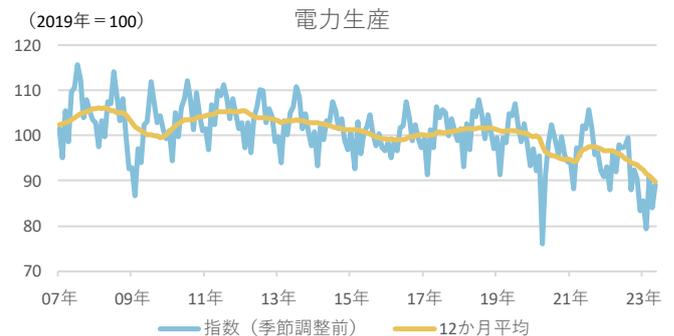
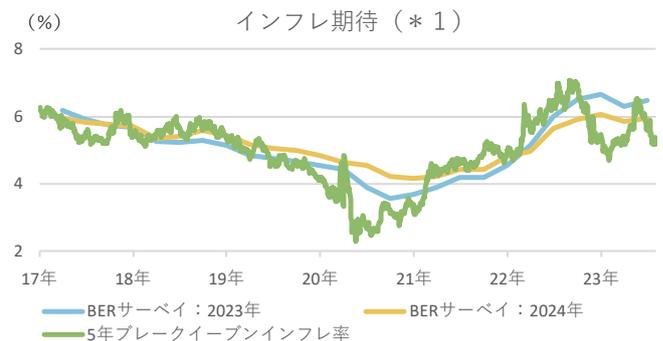
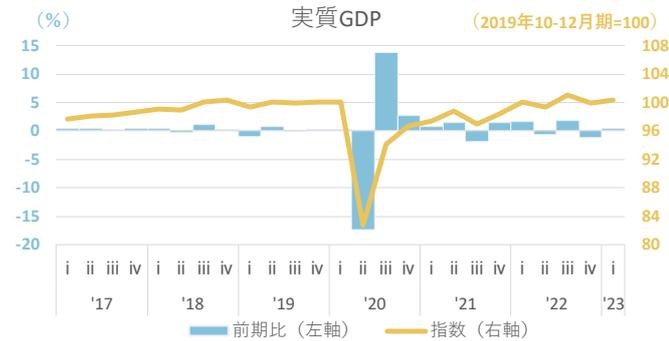
筆者出張につき、来週は休刊します。

次回発行は8月17日の予定です。

南アフリカ為替週報

2023年8月3日 | みずほ銀行欧州資金部

＜主要経済指標の推移＞ 1



- * 1 : BERサーベイは南アフリカ経済調査局 (Bureau for Economic Research) による四半期ごとの調査。経済アナリストや企業などが調査対象となっている。ブレイクイーブンインフレ率は物価連動国債から算出される、市場が推測する期待インフレ率。
- * 2 : 月次データ。ただし、2023年8月は1日のみ。

(資料：南アフリカ準備銀行/南アフリカ統計局/南アフリカ経済調査局/ヨハネスブルク証券取引所/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。